

教職員としての障害者対応について考える

山根 創（高知大学 学び創造センター 特任助教）

講師略歴

神戸大学経営学部卒業。兵庫教育大学大学院学校教育研究科人間発達教育専攻臨床心理学コース修了。修士（学校教育学）。高等学校商業科教員、兵庫県での指導主事勤務を経て、鳥取大学および鳥取看護大学・鳥取短期大学で障害学生支援に従事。2025年9月より現職。東京大学PHED主催「専門的な障害学生支援に関する集中研修プログラム（第1期）」修了。2025年度から、東京大学先端科学技術研究センターが実施するDO-IT Japanプログラムにスタッフとして参画。公認心理師・臨床心理士・重度訪問介護従業者・読書バリアフリーサポーター。

プログラム概要

本プログラムでは、「社会モデル」、「合理的配慮」をキーワードに、できるだけ多くの障害種を取り上げ、その理解と支援方法に関して考えます。

本プログラムのタイトルは、あえて「障害者対応」と表記しています。これは、大学等に在籍する障害学生はもちろん、障害のある教職員、附属施設の利用者、シンポジウム等の大学が提供する事業の参加者を含め、大学における教育・研究、その他活動全般において、そこに参加するすべての障害者を念頭に置いていることによります。そして、教員・事務職員の枠を超えて、私たち一人ひとりができることについて考えます。そのことを通して、障害者と「ともに生きる」とはどういうことなのかについても、参加者の皆さまと一緒に考えていけたら、と思っています。

本プログラムでは、障害者（障害学生）対応について参加者の皆さまとともに考えるワークも行います。加えて、各大学等における障害学生支援の現状なども共有できる機会にできれば、と考えております。

準備物・事前課題

なし

主な受講対象者

高等教育機関における障害者対応や障害学生支援の取組みに興味・関心のあるすべての教職員

到達目標

1. 障害者への対応、支援や合理的配慮について説明することができる。
2. 障害学生支援について、「自分に関係する」問題として捉えることができる。